

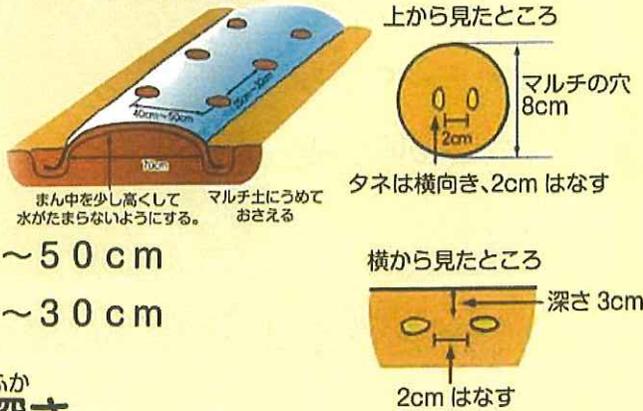
らっかせい そだ
落花生の育て方

はたけ じゅんび
畑の準備

たね しゅうかん さき つち ひりょう
 種まきの1週間ほど前に、土に肥料をまぜます。
 かせいひりょう つか ばあい さん
 化成肥料を使う場合は、チッソ：リン酸：カリが3：10：10
 のものを畑1㎡あたり100gまぜます。
 み せっかい ひつよう しょうせっかい くどせっかい はたけ
 実をつけるには、石灰が必要です。消石灰または苦土石灰を畑
 1㎡あたり60～100gを肥料と一緒に土にまぜます。
 ひりょう いっしょ つち
 マルチを張る場合は、幅が約90cmのものを使いましょう
 は ばあい しばい
 (マルチがなくても栽培できます。)
 はば なか たか つく
 幅が70cmのまん中をやや高くしたベツトを作り、マルチを
 し りょうはしつち お
 敷いてから、両端に土をかぶせて押さえます。

たね
種まき

たね かんかく
 種まきの間隔は、
 じょうまれつ れつ あいだ
 条間(列と列の間)40～50cm
 かぶま かぶ かぶ あいだ
 株間(株と株の間)25～30cm



たね かす ふか
まく種の数と深さ

しよ つぶ たね たね はな
 1か所に2粒まきます。種と種は2cmくらい離します。
 ふか よこむ
 深さは3cm横向きにします。



らっかせい たね しつけ よむ
 落花生の種は、湿気に弱いです。
 つち しめ みず
 土が湿っていれば、水はかけません。

らっかせい そだてよ
「落花生」を育てよう!



らっかせい
 落花生は
 まめ
 豆なのに、
 つち なか
 土の中に
 できるよ!



落花生の栽培暦

主な作業	
	畑の準備(肥料・うね立て・マルチ張り)・タネの準備
5月	タネまき
6月	草とり
7月	マルチをはずす
8月	土をよせる
9月	収穫
10月	乾燥
11月	
12月	

うえきばち そだ

植木鉢で育てよう!

鉢の大きさ

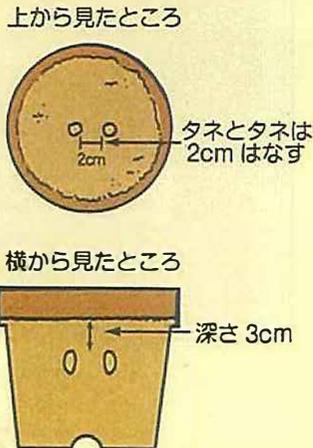
8号(直径24cm)から10号(直径30cm)の鉢を用意しましょう。

土の用意

畑の土や園芸用土に腐葉土を1~2割まぜます。
肥料は、土10gあたり、化成肥料(チッソ:リン酸:カリが3:10:10)を10g、消石灰または苦土石灰を5gまぜます。

種のまき方

2粒を、深さ3cmに2cmくらい離してまきます。
種は横向きにするか、とがった方を下向(したむ)きにします。
7~10日で芽が出ます。

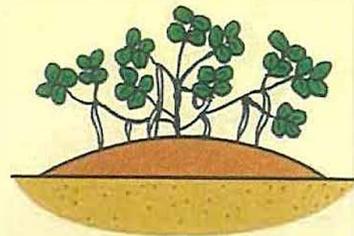


水やり

水は、種まきの後に十分につけ、発芽までは土の表面が乾き始めたら、軽くかけましょう。
発芽した後も、土が完全に乾かないように、様子をみながらかけます。

土をよせる

花が咲いて10日ほどしたら、株もとに土をよせます(子房柄が土に入りやすくなります)。



水やり

7月下旬から8月中旬に畑がカラカラになったら、十分に水をかけましょう。

収穫

収穫時期の目安は、花が咲き始めて75~95日後で、品種によって差があります

品種	収穫時期の決め方 (花が咲き始めてからの日数)
千葉半立	95日後
ナカテユタカ	80日後

乾燥

掘った落花生は、さやに土がつかないように、逆さまにして、1週間ほど乾かします(地干し)。
地干しが終わったら、新聞紙の上に広げたり、網袋に入れて風通しの良いところにぶらさげて、ゆっくり乾燥させましょう。

落花生の莢ができるまで

① 落花生の花



蝶形の花

タネまきから
40～50日すると、
花が咲き始めます！

② 子房柄が伸び始める



子房柄

しぼんだ花

しぼんだ花の
もとから根のような
もの(子房柄)が
のびはじめます！

③ 地面に届いて (開花から約1週間)



花が咲いてから、
1週間で子房柄が
地面に届きます。

この先端に胚珠(マメ
になる部分)がある

④ 土の中の様子



しぼへい
子房柄が
地面につきささり、
深さ5～6cmまで
のびます！

5cmぐらいの深さで
止まり、莢ができる

⑤ 地中で莢がふくらみ始める

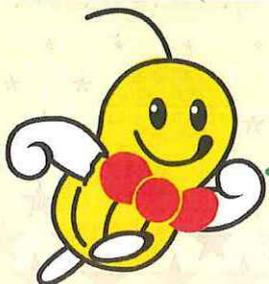


子房柄の先端が
ふくらみはじめ、
莢ができます。

⑥ 収穫間近の落花生



収穫前の
土の中の様子！
こんなに莢が
つきました！



さあ、落花生を
育ててみよう！
たくさん収穫して、
みんなで食べてみてね！

おいしい
落花生をこれからも
よろしくね！

